

第5回 鵜沼市民センター建替えに向けた意見交換会 議事録(要約)

日時:2025 年 11 月 16 日(日)10:00~12:00

場所:鵜沼市民センター 第3談話室

参加者数:14 名

【概要説明】

これまでの経過説明と現在進めている基本設計について 山口市民センター長から説明

【ご意見・ご意見】

(意見・質問(1人目))

1期工事と2期工事の境目は資料の図で、どこで区切れるのか。

(回答 鵜沼市民センター)

1階の談話室3からフリースペースの中間地点を通る線で区切られる南側が1期工事、2期工事の分かれるところになる。2階はホールから待合ロビーを通る線、3階も同様の線で区切られる。

(意見・質問(1人目))

自転車と歩行者の通行エリアが輻輳するところがあるのか、ゾーニングを考えてほしい。西側から来ても、自転車が円滑に入って来られるような配置が良い。また、植栽はどうするのか。さらに、防災広場に芝生を敷くなら環境に配慮し、人工芝でないものが望ましい。プラスチック製品が飛び散らないような環境に配慮されたものが良い。次になぎさ荘のスペースについて、この範囲で足りるのか。創作実習室などが共有できれば連携も生まれると思う。また、3階は郷土資料室が電気室の隣とするプランであるが、貴重な資料が心配だ。3階は倉庫があり、静かな感じがする。郷土資料室がここにあるのはやや寂しいという印象。2階に体育室があるのはとても良い。ホールは3階に設置することはできないのか。ホールに避難される方が多くなると考える。

(回答 鵜沼市民センター)

鵜沼海岸駅からの直進ルート歩行者用に確保するという観点でいくと、駐輪場への自転車の動線については、南側からの進入に一本化することで現在検討をしている。駅からの歩行者ルート確保は同時に北側からの既存の自転車ルートは廃止の方向で考えなくてはならない。

(意見・質問(1人目))

自転車を押して移動される方もいる。また、子どもの家は防災広場側に配置するので、そのお子さん達が自転車で乗りつけるときに南側まで行って駐輪させることができるか、という点も配慮してほしい。

(回答 鵜沼市民センター)

現在、市民センターの敷地に、センター利用者ではない一部の方が置きやすいということで駐輪してしまう例がある。センターとしては駅前の駐輪場をきちんと利用している方々との不公平を解消したい。新しいセンターとした際には、きちんと利用者・それ以外の者を判別できるような管理をしなくてはならず、そのため、出入りの場所は決めざるを得ないということもあわせて検討している。センター利用者の自転車は南側から進入、車は北側からのみという整理の考え方である

植栽については、市の条例で敷地20%を緑地として確保するよう求められている。樹木は移植しても、その後に生育し続けることがなかなか難しい。一般の住宅と接している南側の緑地部分は、できるだけ変更しない形で整備をしていく。前々回の意見交換会で話が上がったが、現在の正面入口の駐車場との境にある桜の木を残すことについては困難だが、入って右の一番大きな桜については、何とか防災広場の中に残せるよう検討している。

続いて防災広場の芝について天然芝は難しい。維持のためには春から夏にかけて1ヶ月間なり2週間単位で人の出入りを制限し、芝が育つ期間踏ませないようにする、夏は水やりが必須といったことから、困難と考える。土やマットを敷く場合、近隣の方々への砂埃の影響もあり、かといって舗装するのが適切とも言い難い。このあたりは検討させてほしい。

なぎさ荘のスペースについては、ご指摘のとおり、現在3,000㎡程度あるものが500㎡弱と狭くなる。しかし、工芸室やホールとして使える多目的室、マッサージの部屋など、なぎさ荘としての専用スペースは最低限、専用で使えるよう確保したうえで集約していく。なぎさ荘は高齢者向けの素晴らしい講座を実施している。そうした講座も2時間や2時間半という枠であれば、市民センターの貸室を優先確保するといった運用で継続できるようにし、さまざまな世代の貸室利用者との交流が生まれることも期待できる。そうした工夫もあわせて検討していく。なぎさ荘の入浴施設は無くなるが、それ以外の高齢者の健康維持に向けたものが相互の協力と工夫で広がっていく新しい要素も多くあると考えている。

最後に、電気室の配置については心配無用である。ホールは多少天井高を稼がないといけない。3階の配置では高さが制限され、物理的にできない。ホールの天井高を一般的な部屋の天井高にはできない。また、3階は日影規制の関係で面積が限定されているため、ホールを配置するとなると面積を犠牲にすることになってしまう。2階にホールがある箇所の上となる(3階)部分は、ホールの天井が高い分、(3階の)床が上がっている。そこを倉庫としており、倉庫は天井までの高さが無いが、スペースを有効活用する目的で配置しているもの。

(意見・質問(2人目))

この会は意見交換会なので、今日集まっていた市民の方々に知っていただきたいと思うことがある。なぎさ荘の面積が6分の1になって統合されるということなる。現なぎさ荘の建物がどうなるかということについて、3月から市に質問しているが、一切説明が無い。なぎさ荘は津波の際にはあの地域の非常に重要な拠点である。カムチャッカの地震による津波警報が発令された時に、なぎさ荘には高齢者と身障者など200人が避難した。なぎさ荘には看護師が常駐しているので、高齢者とか身障者が何とか事なきを得たわけであったが、なぎさ荘の建物が無くなれば、その200人は間違いなく一晩で全員死ぬ。また、ほかにエアコンが設置された公共施設は無い。困みに、私は7丁目の住人で海に近い方だが、先日の津波避難訓練では、避難場所はスズキヤであった。スズキヤまで10分で来いというのが市の発行した公式なチラシ。10分は無理である。皆死ぬ。そのため、私は一生懸命、現なぎさ荘を残してくれと言っている。皆さんにも是非そのように言っていただきたい。向こう側の人(なぎさ荘近くに居住している方々)は皆、困るわけである。市の方では何も考えてくれない。これはひどい話で、皆死んでしまう。半年以上たってもゼロ回答であり、皆さんにも考えていただきたい。いま一つは、新しいセンターの体育室の床と1階のなぎさ荘の間の遮音構造はどうなっているのか。

(回答 鵜沼市民センター)

市は何も答えてないと主張されたが、(11月13日(木)開催の)意見交換会でも意見提案者(2人目)は同じ質問された。市はお答えをしている。市が答えたことに對し、意見提案者(2人目)は答えになっていないと主張し、議論にならない。

(意見・質問(2人目))

それでは答えてほしい。現なぎさ荘はどうするのか

(回答 鵜沼市民センター)

前回も答えているとおり、市のルールに沿って公共資産活用等検討委員会の中で、今後検討がされ決められていくという説明をしているはずです。

(意見・質問(2人目))

私は半年の間、進展が無いと言った。

(回答 鵜沼市民センター)

今後、公共資産活用等検討委員会が開催され、そこで決定していくという市のルールになっていると回答をしている。それを答えてないと主張している。

(意見・質問(2人目))

この3月ぐらいに(同じ質問をしているので、市の)皆さんは考えていただければ、良いわけである。半年全く進められていないのが事実だ。

(回答 鵜沼市民センター)

この会は、意見交換会なので、ご自分のご意見を表明されるのは、もちろん良いが、毎回繰り返し同じことを主張される。

(意見・質問(2人目))

今回が2回目である。

(回答 鵜沼市民センター)

その前から、(昨年の第4回の時も)同じように(市は「公共資産活用等検討委員会で決定していく」と答えているのを、「答えたことになっていない」との)主張した。なぎさ荘の移転についてもはっきり反対とした。

(意見・質問(2人目))

もちろん反対する。

(回答 鶴沼市民センター)

それはそれで意見提案者(2人目)の意見として、市も受け止めている。

(意見・質問(2人目))

市が進展させてないと主張したのは、3日前(11月13日(木)の意見交換会)が初めてであり、今回の発言の2回だけである。繰り返し、繰り返しではない。

(回答 鶴沼市民センター)

繰り返し主張されている。市の各課に対し、それぞれ意見提案者(2人目)から質問が出ており、それに対してお答えをしている。それを答えてないと主張する。

(意見・質問(2人目))

言っても仕方がないから、別に良い。議論する気が無い。私は皆さんに知っていただきたいと思っただけだ。次に遮音構造を教えてほしい。

(回答 鶴沼市民センター)

技術的な専門家に委託し、実施設計の中で検討していく。

(意見・質問(2人目))

そこでバスケットボールとかバレーボールをやるのか。この点は議事録に書いてほしい。一般的にバスケットボールやバレーボールで人間がジャンプと、そこに起きる衝撃が80デシベル40ヘルツの騒音となる。階下のなぎさ荘利用者のためには30デシベル、図書館ぐらいにまで下げる必要がある。これは相当に厳しい、難しいことで、できなくはないが数億円相当のコストがかかるはずである。そのようなことを本当にやるのか。47億円かかると言うが、もっとかかるかもしれない。皆さんに提案したいのは、体育館はそれだけで3階、天井高10mぐらいの余裕があるのを作ってもらい、現なぎさ荘のところに戻って配置す

れば、トータルコストは安くなるはずだ。なぎさ荘のメンテナンスコストに5億円かかるということも有り得ない。私の案であるが、皆さんにも知っておいていただきたい。

(意見・質問(3人目))

カフェ、フリースペースは見通しも良く開放的で、いろいろな場所で市民が賑わえるような場所作りをされており、とても期待感を持つことができた。私は鵜沼海岸2丁目に居住、資料の図から右側(南側)からのアクセスとなる。現在も同様だが、何となく施設がお尻を向けている感じがする。要望としては、屋外駐輪場のところをデッキなどの広場にしてもらえないかということ。理由としては2点。1つは、何となく南側にもう少しちょっと親しみの持てる外観にしてほしいということ、いま1つは、この新しいセンターのカフェ・フリースペース辺りでは東側からの採光を有効に活用しているが、南側の日当たり・陽だまりが一切無いように思うので、図書室の前あたりを、子どもが多く集まり、日向ぼっこができるような場所にしてほしいというものである。そうなれば、南側の住民としては嬉しく思う。市民の居場所が敷地全体に広がり、生き生きとした施設になると考えた。

(回答 鵜沼市民センター)

南側はびっしりと建物が建ち、敷地にゆとりが無い。隣地に対する日影の影響を考慮するため、南側に寄せて建設するという物理的な制約があることは理解いただきたい。また、今回、防災広場を計画しているが、災害時の活用や普段のイベントなどでの活用を踏まえているのと同時に、将来的にこの建物を建て替えるとなったときの建て替えスペースとして確保をしておくという考えもある。さらに、このエリアは第一種低層住居専用地域にあたり、基本的に住居を建てるように定められている。建物を建てるにもいろいろと制限があり、周辺の住環境にできるだけ影響を与えないような計画を立てていかないと許しが取れない。そういう意味で子どもたちの遊び場や、屋外の遊具を設置するといったことが困難となる。その分、建物内に複合化で移設してくる子どもの家を充実させ、幅広い年齢のお子さんが遊べ、また居場所とできるような機能を持たせていきたいと考えている。

(意見・質問(3人目))

屋外駐輪場だけでも、子どもの家のところに移動させ、ちょっとした座るスペースぐらいができればと思う。

(回答 鵜沼市民センター)

そうしたスペースは検討できると思う。

(意見・質問(4人目))

センターの象徴、ランドマークみたいなものがあると良い。鵜沼海岸に平和の像があるが、津波のときには倒れてしまうのか。

(回答 災害対策課)

海岸は県の管理地になる。像がどういう状況で建てられて、耐久性がどのくらいあるのかは市の方では答えられない。

(意見・質問(4人目))

仮に津波で倒れるようなものであれば、新しいセンターに持ってきて象徴的なモニュメントとして建ててほしい。これだけ立派な建物ができるのならば、何かイメージできるような空間があると良い。

(回答 鵜沼市民センター)

防災広場側から上がる階段とスロープ一体型のものは、使い勝手はもちろん象徴的な見た目を活かせるかもしれないが、コストとの兼ね合いもあり、まだ完全に決まったわけではないことを承知願いたい。ご意見いただいたランドマークのようなもの、目玉になるような仕掛けといったものも、地域の方から意見が出てくるかもしれない。参考にしながら進めていきたい。

(意見・質問(5人目))

道路下水道課の職員が列席とのことなので聞きたい。この地域に最大の津波が来たときに2mくらい浸水する、そのときに、1週間くらい停電することが予想される。停電した状況ではポンプ場が動かなくなってしまうが、排水には何日ぐらいを想定しているのか。ある程度、水位が下がらないと、避難した人も身動きが取れなくなり、缶詰状態になると考える。下水道の排水能力をどの程度見込んでいるのか。

(回答 鵜沼市民センター)

津波の水を下水の機能によって排水するのかについては、本日、道路下水道総務課の駐輪場担当が来ているのみであり、下水の専門の職員ではないため、お答えできない。

(意見・質問(6人目))

私は現在の正門側、屋外駐車場の近くに居住している。消防第4分団の建物を(駅側に)移設するとの説明であったが、これはもう決定なのか。

(回答 鶴沼市民センター)

現在の分団の建物の箇所は防災広場、スロープのあたりとなるため、今のところ、この箇所への移設が一番効率的であろうと考えている。

(意見・質問(6人目))

現在、北側から駐輪場に向かう、朝と夜だけ開放している通路があり、これをなくす可能性もあるとの説明であった。通路をなくすことで駐車場の駐車スペースがこれまで以上に自身の居住する箇所に近くなってしまうと思うが、車の騒音対策などは、どうなるのか。

(回答 鶴沼市民センター)

仮にご指摘の通路が無くなった場合でも、駐車スペースをギリギリまで駅側に寄せる形は考えていない。まだ決定ではないが通路の場所は緩衝地帯として植栽のスペースとするなど、これまでの音の相談などを踏まえ配慮していく。例えば前向き駐車限定にする、線の引き方も前向き駐車用に斜めに引くなど、隣接する住宅に排気ガスが向かわないような運用、アイドリングを禁止など現在も実施している運用を継続するなどの配慮をしていきたい。

(意見・質問(7人目))

防災広場にベンチがあるが、バーゴラや夏に休憩できるようなことを想定しているか。また、階段スロープ下のスペースについて活用の検討をしているのか。例えば階段の下に駐輪場を作る、子どもが遊べるようなデッキを作るといったことが考えられないか。さらに先ほどの方も言及していたが、地域のランドマークを意識しての植栽などはどうか。アジサイ、楓、紅葉など季節を感じられるような植栽が良いと思う。

(回答 鶴沼市民センター)

バーゴラの設置については、広場として使う場合、フラットな形状だとさまざまな使い方ができ望まし

いと考えるものの、検討してみる価値あると思う。次にスロープ下については、まだあの形になるかどうかはわからないが、仮にあの形になった場合は、スロープ下に面している1階は子どもの家となる。少し日陰になるため、子どもたちが室内と一体的に使うなど、有効な在り方を考えていきたい。植栽については、まだその計画はこれからであり、どういう樹木を植えていくのかは今後の検討となる。高木では落ち葉の問題など維持管理は大変になる。中低木を選ぶ、小さな植栽で季節によって綺麗なものを選ぶなどいろいろと考えられる。いただいたご意見も踏まえ、検討を進める。

(意見・質問(7人目))

南側は本当に裏側という印象になってしまうため、シンボルツリーとして黒松を植えるなど地域のランドマークを考えてほしい。

(回答 鵜沼市民センター)

樹木の計画づくりにあたっては、いただいたご意見を設計事務所に伝え、象徴的な樹木などもあわせて検討していきたい。

(意見・質問(8人目))

日頃、鵜沼市民センターの事業の手伝いや藤沢メダカの展示を手掛けている。現在、本館と新館の間にちょうどいい広さの中庭がある。子どもたちの事業でスイカ割りなどのスペースに活用しているが、建て替えるとこうした中庭が無くなってしまうことを懸念している。また、藤沢メダカの水槽を展示しているが、センターの建物が新しくなってもこれまで同様、事務室の前に水槽を置いてもらいたい。

(回答 鵜沼市民センター)

中庭は、新館を増築したことによってできた空間である。新しいセンターは日陰の規制などのため、建物の配置がこのような形になっている。中庭を形成するのは難しいかもしれないが、その分、広場ができるので、うまく使っていただきたい。また、体育室も備えることで、今まで以上に十分に運動してもらえ。引き続き、子どもたちのためにお力添えをお願いしたい。メダカも継続できると考えている。

(意見・質問(9人目))

緊急避難用の建物とする、とのことだが、緊急時に備え日頃から屋上を開放してほしい。また屋上に

人工芝を敷いても良いと考える。また、防災の面からも屋上に炊き出しの施設などがあると良い。屋上でバーベキューなどができるが良い。

(回答 鵜沼市民センター)

屋上は津波のときにはいつでも避難できるように作らなくては行けないが、日常の管理を踏まえるといつでも自由に、というのは困難と考える。近隣の住宅への影響を考慮したうえでの許可を取ってくため、建物の屋上での炊き出しは基本的に無理で、当然バーベキューも含め実現し難い。ただ、屋上は大変良い環境でもあるので、これも調整が必要になるが、例えば花火大会の時には近隣の皆さんに開放するといった利用方法はあるかもしれない。絶対に津波のときにしか入れないというのではなく、何かしらのイベントなり企画のときには、有効活用していく形が良いと思う。